

政治学概論 I

苅谷千尋

kariyach@staff.kanazawa-u.ac.jp

Winter 2025

I. 授業の目的

1. ねらい

本授業は、政治学に関する入門的・基礎的知識を学ぶことを目的としています。日々のニュース報道や新聞報道で見聞するように、「政治」は私たちの生活に非常に密着したものです。しかし、政治が具体的にどのような仕組み・メカニズムのもとに成り立っているかは、理解しづらく、私たちを「政治」から遠ざけるひとつの原因となっています。この授業では、政治に関わる基本概念の理解を通して、政治や政策を動かす仕組み・メカニズムについて説明します。

2. カリキュラム上の位置づけ

この授業は、免許法該当科目（教科に関する科目）の「政治学」に分類されている選択必修科目です。

II. 授業の到達目標

1. 受講生が、国民主権を中心とした公民分野の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（公民）
2. 受講生が、選挙制度、政党、政治体制といった政治学の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（基礎的関心）
3. 受講生が、政治学の諸概念について、自分なりの視点を加味した、関係図を作成することができる（基礎的関心）
4. 受講生が、政治学ならびに公民分野に関わる基本的な資料、文献を読みこなすことができる。（論理的思考・文献読解能力）
5. 受講生が、1及び2で得た知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道をより深く、また相対的に理解したうえで、自分自身の意見や解釈を、確かな根拠を明示しながら、明快に記述することができる。（論理的思考・記述能力）

III. 授業の内容および方法

1. イントロダクション：成績評価；中等教育と高等教育 *オンデマンド配信 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
2. 福祉国家と現代日本の課題：福祉国家；福祉政策；小熊モデル；エスピニ=アンデルセンモデル *オンデマンド配信 【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を；SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう】
3. 国民主権と天皇制：国民主権；象徴天皇；公的行為 *オンデマンド配信 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
4. 選挙制度と政治意識：選挙制度；セイリアンス；有効性感覚；政党ラベル *オンデマンド配信 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
5. 民主主義と全体主義（1）：リベラル・デモクラシー；全体主義；自由；責任 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
6. 民主主義と全体主義（2）：ジョナサン・グレイザー監督『関心領域』 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
7. 政治制度と政治過程（1）：立法制度；55年体制；ネオ55年体制 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
8. 政治制度と政治過程（2）：フリーライダー；イシュー・セイリアンス；利益団体；利益；代表 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
9. 前半のまとめ／国会中継；グループワーク；ディスカッション *対面授業 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
10. 行政と政官関係（1）：官僚制；階級制；レッド・テープ；最大動員モデル *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
11. 行政と政官関係（2）：政官関係；官僚の類型 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
12. 地方自治（1）：中央地方関係；自治事務；法定受託事務 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
13. 地方自治（2）：地方政府；三割自治論；平成の大合併 *対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
14. 後半のまとめ／ディスカッション *対面授業 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】

IV. 授業の進め方

1. スケジュール

初回から第4回目までの授業はオンデマンド配信にて実施します（初回・第2回は12月、第3回・第4回は1月を予定）。それ以降の授業は対面で実施いたします（2026年2月2日（月）から6日（金）を予定）。

2. 講義の進め方

授業はスライド資料を用いておこないます。

受講生は、各単元に関連する指定文献を事前に読み、それについて要約や感想、疑問・質問を書くことが求められます（リーディング・アサインメント（=文献予習）。受講生の関心や疑問を踏まえながら、また、重要な意見や代表的な意見を紹介しながら、授業を進めます。また、すべての回答は一覧表にして配布します。

また、定期的に受講者の授業理解や関心のありようを確認します（授業の感想）。オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に1回とします。こちらも授業時間内で、重要な意見や代表的な意見を紹介しながら、授業を進めます。こちらも、すべての回答を一覧表にして配布します。

V. 授業キーワード

- ・ 福祉国家
- ・ 国民主権
- ・ 選挙制度
- ・ 政治制度
- ・ 政治過程
- ・ 政官関係
- ・ 地方自治

VI. テキスト・参考書

1. テキスト

- ・ 使用しません

2. 参考書

- ・ 授業中に適宜紹介します

3. その他授業資料等

- ・ レジュメ、スライド資料などの授業資料は、特設ウェブサイト (<https://kariyach.github.io/teaching/Politics1/index.html>) を通して配布します。リーディング・アサインメントで用いる著作権のある文献については Moodle にアップロードいたします。

VII. 成績評価の方法およびその基準

Assignment	Percentage
リーディング・アサインメント	30%
授業の感想	30%
レポート（2種）	30%
ディスカッション	10%

！重要

- ・授業には3分の2以上の出席を必要とします
- ・評価基準は、授業の到達目標に準じます

予習・復習に関する指示

(1) 予習：リーディング・アサインメント

- ・ほぼ毎回の授業において、内容にかかる文献を事前に読み、感想や質問を書いて提出して下さい
- ・文献の分量は内容によって差はありますが、1時間くらい時間を書いて欲しいと思っています
- ・文献、提出先、締め切りについては、特設サイト[ホームページ](#)からご確認下さい

(2) 復習：授業の感想と授業アンケート

- ・授業内容に関する感想を提出してください
- ・オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に1回とします
- ・30分くらい復習の時間を取って欲しいと思います
- ・文献、提出先、締め切りについては、特設サイト[ホームページ](#)からご確認下さい

VIII. 履修上の指導

- ・受講に当たり予備知識は必要としませんが、日々のメディア報道など、政治的トピックに関心をもつ人の参加を歓迎します。

IX. オフィスアワー

- ・授業の前後以外に、質問・連絡が必要な場合は、調整担当の諸岡先生にご連絡ください。

X. その他

- ・11月中に具体的な授業スケジュールを[Moodle](#)を通して連絡しますので、必ず確認してください。また、この授業に関わる特設ウェブサイトのリンクもご案内します（補足・<https://kariyach.github.io/teaching/Politics1/index.html>です）。Moodleは基本的な連絡事項を伝えるためにのみ用います。オンライン配信のURLなどの情報はすべて特設サイトに集約しますので、お気をつけ下さい。
- ・*4年生の受講希望者は、あらかじめ調整役の諸岡先生までご相談をしてください。相談がない場合は受講できない場合があります。